

40名で12回目の総会!**●春日部地区浦高会 平成24年度総会!**

昨9月2日(日)は、「春日部地区浦高会・平成24年度総会」でした。午後4時半から春日部市商工振興センター3階会議室にご来賓4名、会員36名が集まり開催されました。

【写真①:挨拶される三輪会長】

三輪昭彦会長から「皆さん、こんにち



ちは。本日は平成24年度総会をご案内致しましたところ、西部浦高会から今こちらに向かっていただいております川野浦高同窓会会長、この春日部地区浦高会の産みの親の一人でもある星野浦和麗和会会長にご臨席いただき、また多くの会員の皆様のご出席をいただき盛大に開催できますことをお礼申し上げます。今回、新たに2人の会員にもご参加いただき、ますます地区同窓会が活発に行われますが、これも事務局長以下若手幹事の皆様のご尽力と感謝申し上げます。先日、仕事の関係で仙台に行っていました。まだまだ復興半ばといった感じでした。これからも東北の復興を進めていくためにも、こちらが元気にならなければと思いましたが、ぜひ、地域を元気にするためにも地域貢献でできることを行って参りたいと思いますので、皆様のご協力をお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。」

続いて議事が審議され、次の4議案すべてについて承認いただきました。

*

議題1. 平成23年度事業報告

昨年の総会以来、東日本大震災の被災者支援金、浦高百年の森づくり活動参加、春日部麗しの杜づくり活動、ゴルフコンペ、東京リパークルーズ等17の活動を行いました。

議題2. 平成23年度収支報告・監査報告

収支合計677,293円(繰越金232,286円)、春日部麗しの杜事業積立金269,556円でした。

議題3. 平成24年度事業計画(案)

今総会以降、通年行事に加えて来年4月7日に小旅行「川越の春を味わう!」を企画します。

議題4. 平成24年度予算(案)

収支合計70万円、春日部麗しの杜事業では10万円の支出を予定します。

*

続いてご来賓の皆様からのご祝辞です。

浦和麗和会会長・星野和央様「皆さん、こんにちは。浦高同窓会でお世話になっております星野です。ご紹介にもありましたが、私は春日部地区浦高会の設立時にお伺いし、今回が2回目となりました。私が本部同窓会の常任理事になったのが、浦高90周年記念の前で、あと3年で120周年になりますので約30年近く同窓会活動に関わってまいりました。90周年で麗和会館を建設し、100周年をきっかけに当時の高橋会長の掛け声で地域同窓会を作ろうということになり、地元で“浦和麗和会”を設立しました。その頃、この地区の石井顧問がロータリークラブのガバナー(最高責任者)を務めておられ、懇意にしていた関係で“春日部地区浦高会”の設立のお手伝いをしました。そんなことがご縁です。同窓会は同窓生の人としての絆、仕事や地域活動、さらに人間のふれあいを深くするものです。本日、総会に参加させていただき、春日部地区の熱心さを痛感致しました。」



*

浦高同窓会・鯨井光夫事務局長「今年から事務局長を務めさせていただいております19期の鯨井です。春日部地区浦高会の活動はホームページや会報を見させていただき立派だと思いました。今年は“浦高百年の森づくり”が本多静六賞でいただき、110周年事業で進めてきた自然環境分野の活動も軌道に乗りました。あと3年で120周年を迎えますが、次は世界のリーダーとなる人材の育成に向けて奨学金制度を作ろうという動きがあります。また、在校生も東大合格、科学の甲子園、また運動部も全国大会などで活躍してくれています。」



*

浦高同窓会会長・川野幸夫様「本日は総会が無事に終了し、23年度の活動報告や24年度の事業計画など全議案が無事に承認されおめでとうございませう。例年9月第一日曜日は西部浦高会が開催され、そちらから参ったため、遅参しましたことお詫びいたします。同窓会の活動や在校生の活躍については、事務局長からお話があ



たと思いますが、在校生達の文武両道にわたる活躍に同窓生として誇りに思うところがございます。私は5月に再選され任期3年ですが、この間にグローバル世界において日本の地位を高めてくれる人材を世の中に送り出していきたいと思っています。浦高生にはそんなリーダーとして活躍してほしいと思います。そんな活躍のために同窓会として財政的支援をしていきたいと思っており、皆さんにもぜひ財政的なご支援をお願いします。現在、検討委員会で検討中ですので、全体がまとまりましたらご案内したいと思います。本日は、おめでとうございます。」

＊

続いて新会員の岡野 浩さん(10期)と岩本利夫さん(22期)のご紹介があり、根本 崇副会長(16期)のご挨拶で総会を終了しました。

＊

続いての会員スピーチは、顧問の石井 治さん(中48期)の「我が青春、思い出の浦中時代」です。

＊

◆造り酒屋に生まれ

私は昭和4年8月23日に北葛飾郡上高野村、現在の幸手市南に生まれ83歳になりましたが、これまで大病すること無く過ごしてまいりました。家業は天保11年創業の造り酒屋で、現在七代目になります。男3人、女3人の次男坊として生まれ、春中に行くと思っていたのですが、父親が小学生の時代に家庭教師を付けてくれて浦中を受けることになりました。当時、浦中生徒が浦和から私の家の前を通って宇都宮めがけて耐久競争で走っていたというものが縁かと思えます…と言いますのも、父親が学生達に力水を出していたからです。



＊

◆いざ、浦中へ

私が受験した頃、浦中で14年間の長きにわたり校長を務められていた今井精一先生が亡くなり、3月に葬式に出席しました。当時の校長は文部省の任官で、“至誠一貫”を浸透させた校長です。次の校長・五十里秋三先生も立派な方で髭を生やした怖い方で、あだ名はガンジーでした。

浦中に入り、私は本太というところに父が家建ててくれ、お婆さんとお手伝いさんと暮らしました。1学期が終わり、当時は250人だったのですが全員の成績が張り出されるのです。やはり浦和出身者

には勝てず、かなり後陣を取りました。さらに赤紙をもらうと両親に見せて判子をもらって提出しなくてはならないという状況でした。父親に申し訳ないと思い、2学期は150人抜きをしたことを今でも誇りに思っています。

10月5日は創立記念日で、宇都宮までの耐久競争がありました。8時間で何処まで走れるか、上は学生服、下はゲートルで走るというもので、私は古河と間々田の間くらいまででしたが、最高は雀宮あたりまで走ったものです。皆さんの古河マラソンなんて楽なものです。

＊

◆戦時中の学校

昭和16年12月8日に戦争が始まり、終戦前には与野の沖電気で職工の手伝いをしたことがあります。3月10日の東京大空襲では、東京の空が真っ赤に燃えているのを防空壕で見た記憶があります。ただ、この時だけは女子校生徒と一緒に防空壕に入っていて少しばかり面白かった記憶があります。

＊

◆プライドを持って浦中と書く

数学が好きで慶応大学の工学部に進学し、学歴を書くときに慶応大学と、プライドをもって浦和中学と書いています。人生で大切なのは人との出会いだと思います。今井校長、五十里校長の“至誠一貫”を大切にしてきたからこそ、私の今の人生があり、市内で借金もせず企業としての今日があると思います。

まだまだ話したいことはあるのですが、本日はここまでとします。ありがとうございました。

＊

石井さんの貴重な体験談をお伺いし、10数期生の皆さんまでは、うんうんと頷かれていました。私



達25期前後、それ以降になると大夫違うようです。

さて、ここからは懇親会。お酒と料

理をいただき、皆さんとの歓談をしたのち、高校47期の伊藤貴成さんの指揮による校歌斉唱で締めました【写真⑥⑦】。



♪…広き宇内に雄飛せん♪ (〇〇)